

UNIT 10

EXERCISES

《解答》

- A (1) pull (2) beating [beat] (3) heard (4) to help (5) scolded
- B (1) should have your script checked by a
(2) was able to make myself understood
(3) heard Cathy talking on her
(4) Paul was made to clean the classroom
- C (1) have [get] it (2) listened, discuss [discussing] (3) defeated [beaten / beat] by
(4) made to
- D (1) I have [need] to have [get] this essay corrected by the teacher by Friday. /
I have [need] to have the teacher correct this essay by Friday. /
I have [need] to ask the teacher to correct this essay by Friday.
(2) Misaki felt her shoulder tapped by someone from behind. /
Misaki felt someone tap her shoulder from behind.
(3) After we (had) talked for an [one] hour, my father allowed [permitted] me to study
abroad. /
~, my father let me study abroad. /
After an hour of talking, ~.
(4) I happened to see Meg practicing dancing [dances] in the park. /
By chance, I saw Meg ~ in the park.
(5) Let me ask you another [one more] question about your presentation.

《和訳》

- A 以下の語句を正しい形にして空所を補いなさい。
- (1) 私は先月、歯医者に虫歯を抜いてもらった。
(2) 彼を見たとき、私は心臓がとても速く鼓動している [鼓動する] のを感じた。
(3) 音楽がとてもうるさかったので、私の声は届かなかった。
(4) なんと難しい問題だろう！兄に手伝ってもらわなければならない。
(5) 私は電車で男の子が母親に叱られているのを見た。
- B カッコ内の語句を使って文を完成させなさい。
- (1) あなたは原稿をネイティブスピーカーに確認してもらうべきだ。
(2) 私のドイツ語は下手だったが、旅行では言葉が通じた。
(3) 廊下を歩いていると、キャシーがスマートフォンで話しているのが聞こえた。
(4) ポールは遅刻したことで教室の掃除をさせられた。
- C 空所を補って、文を完成させなさい。
- D 以下を英語で表現しなさい。

《解説》

A

(1) 3. 〈have+O+do〉

空所前が *had a dentist*, 後が *out a bad tooth* であることから, 空所に *pull* を入れると「歯医者に虫歯を抜いてもらった」となり文意が通る. *pull out a bad [decayed] tooth* で「虫歯を抜く」という意味. ここでの 〈have+O+do〉 は「O に (お金を支払って) ~してもらう」という意味で, O にはしかるべき職業の人がくる. なお, *tooth* 「歯」は複数形の場合は *teeth*.

(2) 8. 〈feel+O+doing〉 / 7. 〈feel+O+do〉

従属節 *When I saw him* の内容「彼を見たとき」と, 空所前の *I felt my heart* から, 主節は「心臓がとても速く鼓動しているのを感じた」という内容だと推測できる. 「心臓が鼓動する」という意味の *beat* を用いて, 空所には現在分詞 *beating* あるいは原形不定詞 *beat* を入れる. ここでは意味の違いはほとんどない.

(3) 6. 〈make+O+done〉

全体が *so ... that* ~ 「とても…なので~だ」(→ UNIT 15) の構文で組み立てられており, 前半が「音楽がとてもうるさかったので」という意味になることから, 後半は「自分の声を伝えることができなかった」という内容だと推測できる. 空所には *hear* の過去分詞 *heard* を入れる. 〈make oneself heard〉 で「自分の声を届ける」という慣用的な表現.

(4) 4. 〈get+O+to do〉

1 文目が「なんと難しい問題だろう」という意味で, 空所前が *get my brother* であることから, 2 文目は「兄に手伝ってもらわなければならない」という内容だと推測できる. 〈get+O+to do〉 で「S は O に (説得などをして) ~させる」という意味なので, 空所には *help* を *to help* として入れる.

(5) 9. 〈see+O+done〉

空所前が *a boy*, 後が *by his mother* であることから, 「男の子が母親に~されるのを見た」という内容だと推測できる. 空所には *scold* 「~を叱る」の過去分詞 *scolded* を入れる.

B

(1) 5. 〈have+O+done〉

主語 *You* に続くのは *should have* が自然. その後は *checked your script by a (native speaker)* とすることも文法的には可能だが, 意味が通らない. *your script checked by a (native speaker)* にすると「原稿をネイティブスピーカーに確認してもらう」となり文意が通る. 〈have+O+done〉 で「O を~してもらう」という意味を表す.

(2) 6. 〈make+O+done〉

but までが「私のドイツ語は下手だったが」という意味であることと語群から, 解答は「自分の意思を伝えることができた」という内容だと推測できる. 〈make oneself understood〉 で「自分の意思を伝える」という意味なので, *was able to make myself understood* と組み立てる. なお, このように「(実際に) ~できた」と表す場合, *could* ではなく *was able to* を用いる (→ 参考書 p.113 使い分けよう!).

(3) 8. 〈hear+O+doing〉

前半は〈時〉を表す分詞構文で「廊下を歩いているとき」という意味. 主文の主語 *I* に続いて述語動詞になれるのは, 語群内で *heard* のみ. 残りの語群から, 「キャシーがスマートフォンで話しているのが聞こえた」という内容が推測できるので, 〈hear+O+doing〉 「O が~しているのを聞く」を用い, *Cathy talking on her (smartphone)* と組み立てる.

(4) 1. 〈make+O+do〉の受動態

語群後の for being late は「遅刻したことで」という意味。語群内で主語になる可能性があるのは Paul と the classroom だが、「遅刻した」主体は Paul なので、Paul を主語とする。さらに「(遅刻の罰として) 掃除をさせられた」という内容が推測できるので、was made to clean と組み立てる。〈make+O+do〉を受動態にすると原形不定詞が to 不定詞に変わること注意到意。

C

(1) 5. 〈have / get+O+done〉

「(自転車)を直してもらおう」という内容で、空所後に fixed at a bicycle shop とあることから、「自転車」を O として 〈have / get+O+done〉「O を～してもらおう」を用いることがわかる。空所が 2 つなので、ここでは O は代名詞 it とする。

(2) 7. 〈listen to+O+do〉 / 8. 〈listen to+O+doing〉

「～するのを聞いた」という内容なので、〈listen to+O+do / doing〉「O が～する [している] のを聞く」を用いる。ここでは do, doing のどちらも使える。「～について議論する」は他動詞の discuss。「景気動向」は economic performance。

(3) 9. 〈see+O+done〉

「～されるのを見た」という内容なので、〈see+O+done〉「O が～されるのを見る」を用いる。「～を打ち負かす」という意味の defeat の過去分詞は defeated。もしくは beat を用いてもよい。語形変化は beat-beat-beaten もしくは beat-beat-beat なので、過去分詞は beaten [beat]のいずれでもよい。2 つめの空所には by を入れる。

(4) 1. 〈make+O+do〉の受動態

「(無理に)～させられた」という内容なので、〈make+O+do〉の受動態 〈be made to do〉を使う。なお、deal with は「～を処理する」(= handle) という意味。また、ここでの will は「意思」という名詞。

D

(1) 5. 〈have / get+O+done〉 / 3. 〈have+O+do〉

「この作文を先生に添削してもらおう」は「この作文」を O として 〈have / get+O (this essay) +done〉で表す。もしくは「先生」を O として 〈have+O (the teacher) +do〉で表してもよい。「～までには(…する)」という〈動作の完了の期限〉は by を用いる(→参考書 p.421)。

(2) 9. 〈feel+O+done〉 / 7. 〈feel+O+do〉

「肩を叩かれるのを感じた」は「肩」を O として 〈feel+O (her shoulder) +done〉で表す。「だれかに」は by someone [somebody]。「だれか」を O として 〈feel+O (someone) +do〉と表してもよい。「背後から」は from behind。

(3) 4. 〈allow [permit]+O+to do〉 / 2. 〈let+O+do〉

「1時間の話し合いの後」は after を用いて、節でも句でも表すことができる。「父は私が留学するのを許してくれた」は 〈allow [permit]+O+to do〉で表す。もしくは 〈let+O+do〉で表してもよい。

(4) 8. 〈see+O+doing〉

「たまたま～した」は happened to do で表す。「メグがダンスの練習をしているのを見かける」から、ダンスを練習している一部を見たことがわかるので、〈see+O+doing〉で表す。practice

は不定詞ではなく動名詞を目的語にとる動詞であることにも注意 (→ UNIT 8).

(5) 2. 〈let+O+do〉

「私に質問させてください」は〈let+O+do〉で表す. このような場合, let に please をつけなくても失礼にならない. 「プレゼンテーションについて」は about your presentation.

Let's Try!

《解答例》

- ① (1) I heard a car honk (its horn). / I heard a car honking.
(2) I saw a dog almost [nearly] run over by the car. /
I saw a dog almost [nearly] get run over. / I saw a car almost [nearly] hit a dog.
- ② It was nine at night. When I was walking near the intersection, I heard a car honk its horn. I turned around and saw a dog almost run over by the car. (32 words)

《和訳》

- ① ペアを組んで, 質問について話し合いなさい.
あなたは目撃者です. 現場の状況を説明しなさい.
(1) 交差点の近くであなたは何を聞きましたか.
(2) その後何を見ましたか.
- ② 時間的順序を明らかにし, 質問に 30 語程度で答えなさい.